



令和7年3月31日

所沢市長 小野塚 勝 俊 様

所沢市廃棄物減量等推進審議会
会 長 渡 辺 浩 平



ごみ減量・資源化に関する方策について（答申）

令和6年11月28日付け所資推第101号にて諮問のありました標記の件について、本審議会では、全3回にわたり会議を開催し、専門的な見地や市民及び市内事業者の視点で慎重に審議を重ねてまいりました。

一般廃棄物処理基本計画に掲げる中長期的なごみの減量・資源化の目標を達成するためには、市民・事業者・行政が協働してごみの減量・資源化を進めていくこと、市民に対して市の考え方を分かりやすく説明すること、新たな施策については十分な検証を行った上で実施に向けて進めていくことが重要です。

以上を踏まえたうえで、所沢市一般廃棄物処理基本計画に則った施策を進めるよう要望します。

記

1. 食品ロスの削減

- 賞味期限及び消費期限があるもの、また野菜や果物のように期限がないものも含めて使い切ることを習慣化するように、市民に対して周知・啓発を図る。
- いわゆるコミュニティフリッジなど、事業者から排出される食品ロスを削減する方法について調査・研究を進める。

2. 古紙類の資源化

- 雑がみについては、市民にとって分かりやすい分別方法を周知する。
- 古紙類の収集頻度を適宜見直すとともに、小売店等との連携を図り、回収の機会を増やす方策について検討する。

3 紙おむつの資源化

- 家庭または事業者から排出される紙おむつの資源化について、調査・研究を進める。
- 福祉施設や保育施設等から排出される紙おむつについて、排出量や収集方法などの調査・分析に努め、資源化事業としての調査・研究を進める。

4 電池類の資源化

- 市内から発生する電池、特にリチウムイオン電池については、火災の原因にもなり得るため、分別の徹底が必要であるが、電池の種類によって排出方法は様々であることから、市民に対して分かりやすく周知する。
- 電池類を一括回収している他市の先進事例等を参考にしながら、市民の利便性を向上するような施策について検討する。

5 プラスチック類の一括回収

- 容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括回収を進めるに当たっては、リチウムイオン電池の混入による火災の可能性や、収集運搬などに要する新たな費用の負担など、重要な課題があることから、モデル地域での実証実験の実施も含め検討する。
- 現在、まちづくりセンター等で実施している月1回の拠点回収を軸として、市民のライフスタイルに合わせた新たな拠点回収（ホームセンターやドラッグストアなど）の機会を増やす方策について検討する。

6 剪定枝の資源化

- 家庭または事業者から排出される剪定枝の量は多く、年間で約3,000トンと試算されていることから、焼却処理に係るコストと焼却による二酸化炭素排出量を減少させるため、資源化を検討する。
- 家庭から排出される剪定枝は、季節によってばらつきがあるため、収集体制について調査・研究を進める。

以上